

次亜塩素酸水 希釈タイプの 隠れたリスクとは？

希釈すると長期間の使用ができなくなります。

希釈に使用する水道水は、地域と季節で成分が異なります。(水道局調べ)
そのため、水道水と次亜塩素酸水をただ容器で希釈したものは酸性度が安定しないのですぐに水に戻ってしまいます。長くて数日間、早ければ数時間で効果を失いますので希釈後はその日のうちに使用して下さい。

除菌効果にムラがあります。

次亜塩素酸水と水道水を希釈すると、酸性度が安定しないため効果的な除菌が出来ません。
次亜塩素酸水と水道水は実は均等に混ざりにくいと言われているため除菌効果にバラつきがでてきます。

安全性が保障できません。

高濃度の次亜塩素酸水は人体へ影響がございます。
希釈使用で濃度は薄まりますが均等に混ざりにくいので、場合によっては高濃度で使用していることと同じ状況が発生することがあります。
また、使用者が希釈するため用量や用法を間違えた場合は健康被害の原因になる可能性がございます。

それでも希釈タイプを使用するためには

- ①希釈は使用する分だけ毎日準備してください。
- ②決められた用量・方法を守り、希釈を正しく行って下さい。
- ③希釈後は塩素濃度(ppm)と酸性度(pH)を測定してください。
- ④希釈後、数日間経過したものは効果が失われますので使用しないで下さい。

※物品・手指・空間など様々な場所で長時間使用する場合は【ストレートタイプ】の次亜塩素酸水をお勧め致します。